

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民	日本史研究	5	3年2・3・6組

使用教科書	副教材
『詳説 日本史B』(山川出版社)	『詳録新日本史史料集成』(第一学習社) 『最新日本史図表』(第一学習社) 『山川 一問一答 日本史』(山川出版社) 『4ステージ演習ノート日本史B』(数研出版)

### 1. 学習の目標

日本史A及びB、日本史研究との連携で日本史に関する知識を深めるため、基本的な「学習の目標」は不変である。我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察させ、我が国の文化や伝統の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚を国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。原始・古代から現代までの日本史の展開を、世界史的視野に立ち、多くの要素を踏まえ、幅広い見方で大きく考えさせる。また、歴史の展開の中で、日本文化の特色やその伝統の形成について認識を深める。その際、歴史の過程を実証的に考察させることによって歴史の見方・考え方を身につけさせ、歴史的思考力を育成する。そして、民主的・平和的な国家・社会を形成する自覚と国際社会に主体的に対応できる資質を養うことをねらいとする。

### 2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。

### 3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	7章 幕藩体制の展開 2, 経済の発展 3, 元禄文化	・寛永期を画期として幕政が安定期を迎え、町人の経済的・文化的活動を活発化させ、元禄文化を開花させていった国内情勢を捉える。	授業態度 授業ノート提出 小テスト 定期試験の成績
	5	8章 幕藩体制の動揺 1, 幕政の改革 2, 幕府の衰退 3, 化政文化	・18世紀から19世紀にかけて、商人の台頭が目立つ一方で、農村の本百姓体制が崩壊し、幕藩体制の動揺が顕著になっていった様子を理解させる。 ・幕府による諸改革にも関わらず国内情勢の悪化が深刻化し、19世紀に内憂外患が頂点に達して幕威が低下する様子を理解させるとともに、その一方で政治・社会・文化など多くの面で近代への胎動が強まる様子を指摘する。	
	6	古代～近世の復習 (基礎学力到達度テスト対策)	・講義形式および問題演習・解説等により基礎学力到達度テストの出題範囲を復習する。	
2	7	(基礎学力到達度到達度テスト後) 近現代史の概説		授業態度 授業ノート提出 小テスト 定期試験の成績
	9			
	10			
	11			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。